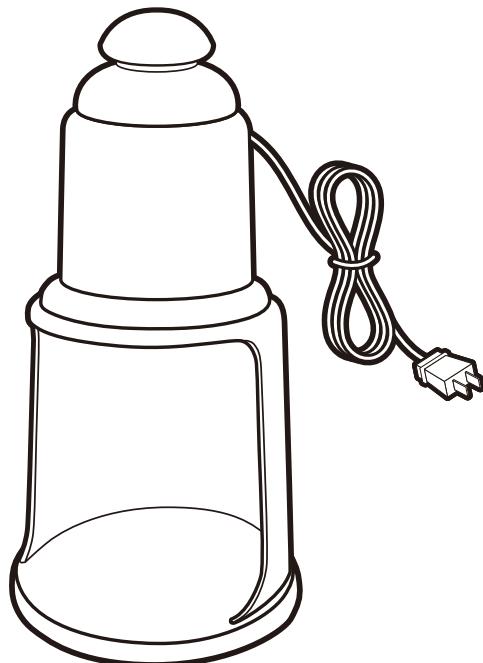


# 取扱説明書・保証書

## 電動かき氷器

DIN-B4



### もくじ

仕様	表紙
安全上のご注意・警告	1~3
各部の名称・組み立てかた	4
正しい使いかた	5~8
お手入れのしかた	9
保存のしかた・こんなときは	10
部品のご購入について・お問い合わせ	10
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

### 仕 様

品 名	電動かき氷器	質 量	(約)850g
型 番	DIN-B4	操作スイッチ	マイクロスイッチ内蔵・プッシュON式
定 格 電 壓	AC 100V	付 属 品	取扱説明書・保証書×1、ふた付き製氷カップ(Sサイズ)×2、ブラシ×1
定格周波数	50Hz/60Hz		製氷カップは、こちらからご購入いただけます 
定格消費電力	15W		DOSHISHA Marché ONLINE STORE <a href="https://www.doshisha-marche.jp/">https://www.doshisha-marche.jp/</a> 携帯からはこちら
製品 サイズ	(約)幅16.5×奥行16.5×高さ33.5(cm)		
コードの長さ	(約)1.3m		
回 転 数	・50Hz (約)73rpm ・60Hz (約)88rpm		
定 格 時 間	5分		

●仕様などは改善・改良の為、予告なく変更する事があります。●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

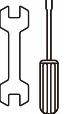
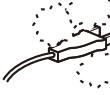
 <b>警告</b>	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

## 図記号の意味と例

安全上のご注意

	◎は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、◎の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# ! 警告

 分解禁止 	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはお客様相談室(P.11をご参照ください)にご相談ください。	 ホコリを取る 	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 使用禁止 	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示 	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・火災の原因になります。
 禁止 	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く 	異常時(こげ臭い、発煙など)は、電源プラグをコンセントから抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止 	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	 禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。

# ⚠ 警告

  <p>使用後、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電や火災の原因になることがあります。</p>	  <p>乳幼児だけで使わせたり、手の届くところでは使わない。 けが・やけど・感電の原因になります。</p>
  <p>交流100V以外で使わない。 火災・感電の原因になります。</p>	  <p>水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。</p>

# ⚠ 注意

 <p>本製品を業務用として使用しない。 故障の原因になります。</p>	 <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になることがあります。</p>
  <p>本体やスタンドを落としたり、製品に強い衝撃を与えない。 感電・けが・故障・破損の原因になります。</p>	 <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。</p>
  <p>運転中にふたを開けたり容器の中、及び氷ケースの中へ指・スプーン・箸など氷以外のものを入れないでください。 けがの原因になります。</p>	 <p>氷以外のものは入れない。 故障・けがの原因になります。</p>
 <p>タコ足配線はしない。 火災の原因になります。</p>	 <p>運転中に移動させない。 故障・けがの原因になります。</p>
 <p>テーブルの端などに置かない。 落下して、故障やけがをする原因になります。</p>	 <p>変形や破損など、異常があるときは使用しない。 感電の原因になります。</p>
 <p>平らなテーブルなどに置いて使用する。 落下して、故障やけがをする原因になります。</p>	 <p>本製品は食器用洗浄機・食器用乾燥機を使用しないこと。 故障や変形の原因になります。</p>

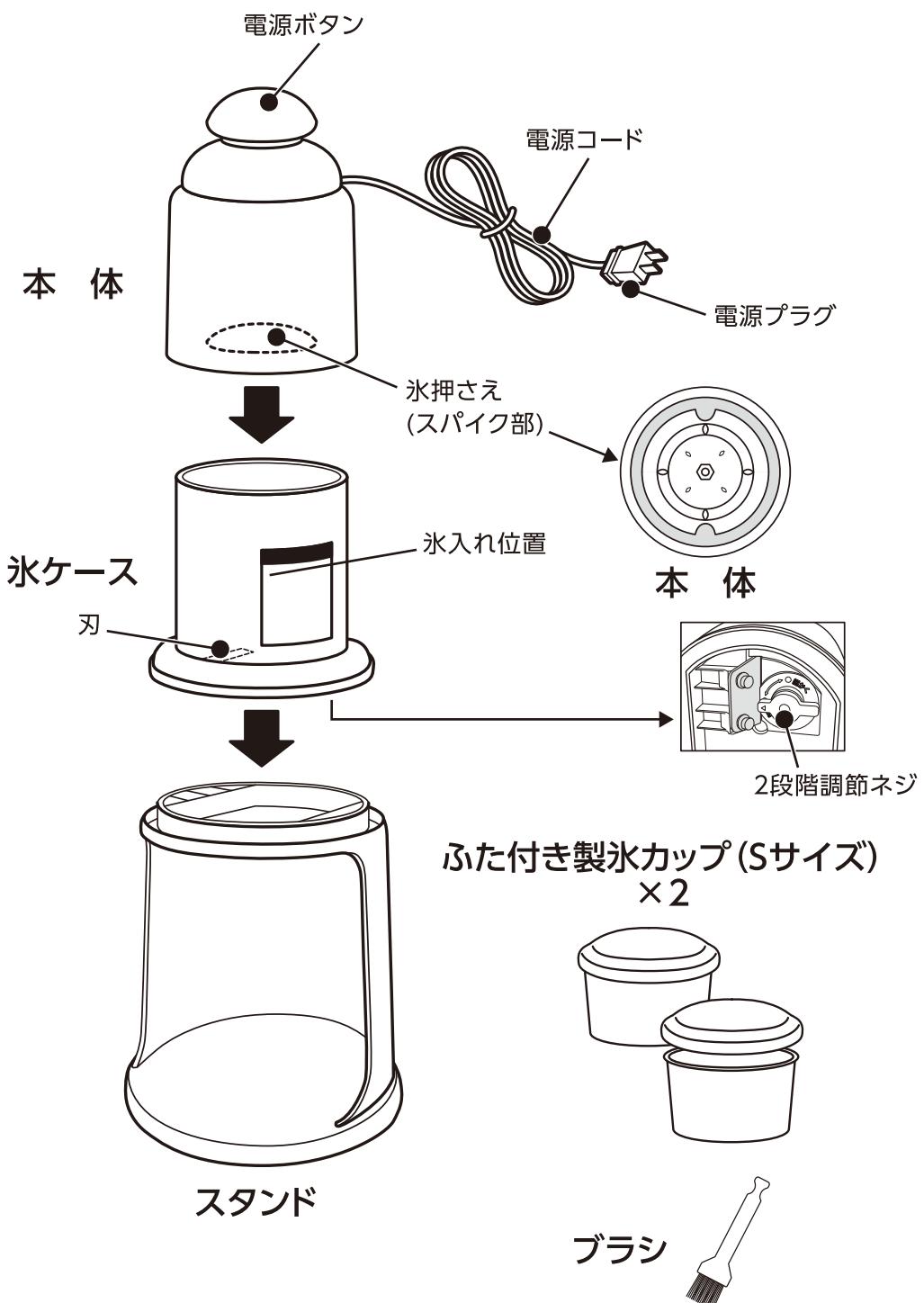
安全上のご注意

# ⚠ 注意

 <p><b>禁止</b></p> <p>次のような場所では使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水や油のかかりやすいところ。</li> <li>●湿気の多いところ。</li> <li>●火気の近く。</li> <li>●直接日光が長時間当たるところ。</li> </ul> <p>ショート・感電のおそれ、変形・故障の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>本体部など、製品の上部のみを持って持ち運びしない。</p> <p>製品が落下するなどして、けがや破損の原因になります。持ち運ぶときは、電源プラグを抜さ、製品の脚部と本体を持って注意して行うこと。</p>
 <p><b>禁止</b></p>  <p>本体は5分以上の連続使用はしない。 モーター故障の原因となります。</p>	 <p><b>禁止</b></p>  <p>スパイク部にさわらない。 けがの原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p>  <p>丸洗いしたり、本体部に水を入れたりしない。 ショート・感電の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p>  <p>刃は鋭利なので、 直接手をふれない。 けがの原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p>  <p>製氷カップは加熱したり、 電子レンジの中に入れたりしない。 破裂・変形の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p>  <p>氷ケースとスタンドは40°C以上の お湯で洗わない。 変形・変色の原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・ アルコール・磨き粉・金属たわしなどは 使わない。</p> <p>変色や変形の原因になります。</p>	

# 各部の名称・組み立てかた

各部の名称・組み立てかた



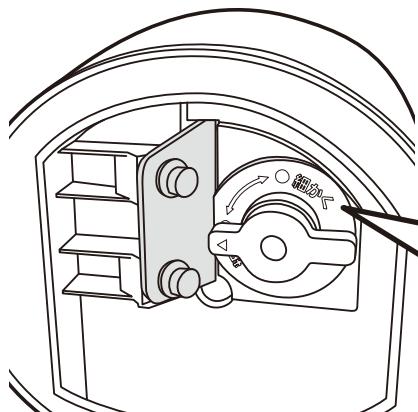
# 正しい使いかた



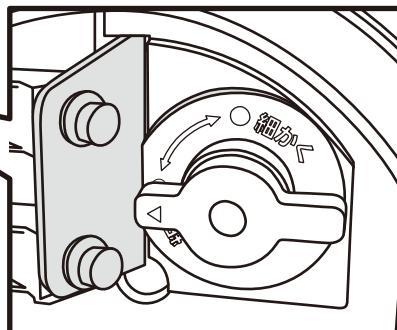
乳幼児だけで使わせたり、手の届くところで使わないでください。  
またご使用前に洗浄される場合は、水を使わずに乾いた布で本体・本体の氷押さえ、  
氷ケースを拭いてください。

## 1. 氷ケースの2段階調節ネジで高さを調節します。

- ◆氷ケースの底面の2段階調節ネジの「△」を「細かく」、「粗く」のどちらかにセットしてください。

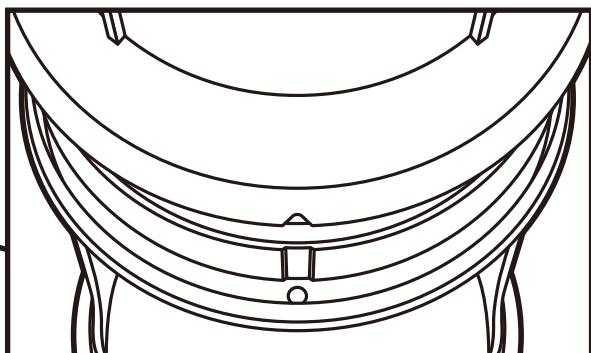


《ご注意》刃にはふれないでください。  
鋭利なため、けがの原因になります。



## 2. 氷ケースとスタンドの向きを合わせて取り付けてください。

- ◆氷ケース正面の「△」とスタンドの「○」に合わせて取り付けてください。



# 正しい使いかた

## 3. スタンドの上に、かき氷を受ける器を置きます。

- ◆ 器はスタンドの中央に正しく置いてください。



## 4. 氷を氷ケースにセットします。

- ◆ 製氷カップの氷の平らな面を下にして氷ケースに入れます。

氷を取り出すときは、製氷カップ裏側から水をかけると取り出しやすくなります。

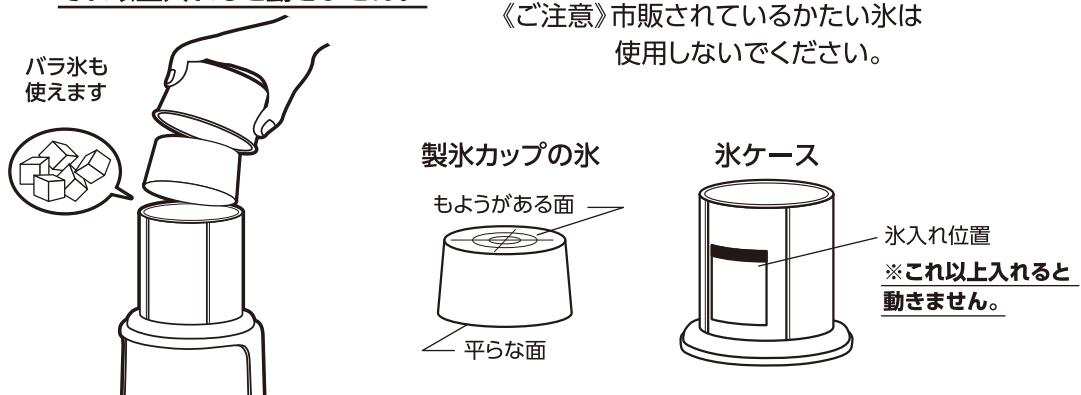
お願い:氷を製氷カップから取り出すとき、たたきつけないでください。破損のおそれがあります。

- ◆ 冷蔵庫専用もしくは市販の製氷皿でつくるバラ氷も使用できます。

バラ氷は氷ケース横の「氷入れ位置」ラインの下まで入れてください。

それ以上入れると動きません。

《ご注意》市販されているかたい氷は  
使用しないでください。

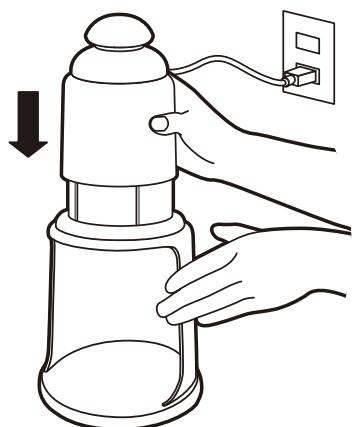


### 氷の作り方

製氷カップに水を約8分目ぐらい入れて、カップふたをきちんと閉めて正しく冷凍庫で凍らせてください。

《ご注意》製氷カップに水いっぱいに入れて冷凍すると、製氷カップがふくれたり、カップふたが飛んだり、カップが破損したりすることがありますので水量にご注意ください。

## 5. 本体を氷ケースにかぶせ、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



《ご注意》

- 持ち運ぶ際はスタンドごと持ち上げてください。
- ぬれた手で直接プラグを持つと危険ですので、必ず乾いた手で持ってください。
- 本体を氷ケースにかぶせる際、無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。  
※本体をかぶせる向きは自由ですが、電源コードがからまないように注意してください。

# 正しい使いかた

## 6. 電源ボタンを手でゆっくりと押し、本体を押し下げながら氷を削ってください。

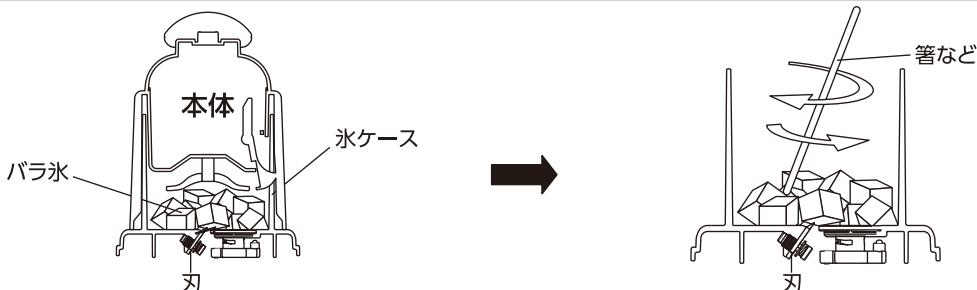


- ◆ 電源ボタンから手を離すとモーターはストップします。
- ◆ 本体は氷を削っている間、徐々に下がってスタンド面に密着するまで氷を削ることができます。

※ 強めに押すと氷が引っかかりやすくなります。  
※ 氷が引っかかり削れなくなった場合は、一度本体を持ち上げて再度差し込んでください。  
※ バラ氷を使用した場合、付属品の製氷カップで作った氷より本体の搖れが大きくなります。  
※ 氷ケース内に氷が入っていないと動きません。

バラ氷をお使いの時には、途中で止まることがありますが故障ではありません。  
氷ケースの中で、バラ氷がロックしてしまうことが原因です。

正しい使いかた



対処方法: 箸などの細長いものを使い、氷ケースの中でロックされているバラ氷をかき回し、氷ケースの中のバラ氷の位置を変えたうえで、ご使用ください。



- ①決して中に指を入れてバラ氷をかき回さないでください。  
②氷がないときは動作しません。  
③本体を無理に押さないでください。  
④付属の製氷カップでのご使用をお勧めします。

## 7. 本体をはずし、氷ケースの氷を捨てます。

※ 構造上、氷ケース内に氷が残ります。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。  
残ったまま新しい氷を入れるとカラ回りして削れません。

バラ氷を削ったかき氷と、製氷カップの氷を削ったかき氷とは、削り具合が異なります。



### 《ご注意》

- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用後は、本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきんなどの上において水切りをしてください。

# 正しい使いかた

## 《ご注意》

- 連続使用は5分以内にしてください。
- 電源ボタンを押してもモーターが作動しない場合は、一度本体をはずして、氷ケース内の氷の量を確認してください。「氷入れ位置」ラインより氷の量が多いと作動しません。
- 本体を氷ケースからはずした場合、氷押さえに絶対に手をふれないでください。
- 氷が氷ケースに入っていない場合もモーターは作動しません。
- 本体が停止したら、本体をはずし、氷ケース内の残った氷を取り除いてください。  
スパイク部と刃の接触を防ぐ構造になっているため、氷ケース内に氷が残ります。
- 本体をはずした際、水が垂れることがありますので、ふきんなどの上に置いてください。
- 再度、別の氷を削る場合は氷ケースから残った氷を取り除いてから、新しい氷を入れてください。

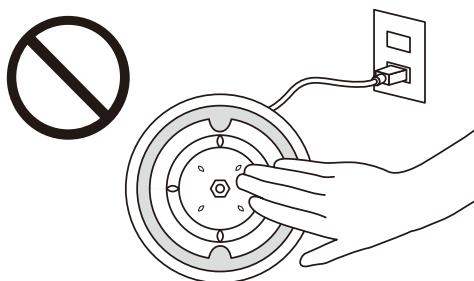
正しい使いかた

## 《保護スイッチ機能について》

本体を氷ケースからはずしてあるときや、氷の量が多いときは、電源が入らないよう保護スイッチ機能を設けてあります。無理に氷押さえや、電源ボタンを押したり、たたいたりしないでください。電源ボタン破損の原因になります。

## 《ご注意》

スパイク部に直接手をふれないでください。氷ケース内に氷がない場合は作動しません。



# お手入れのしかた

いつも清潔にお使いいただくために使用後はお手入れを十分に行ってください。

## 1. 氷ケースから本体をはずしてください。



## 2. スタンドから氷ケースをはずしてください。

- ◆ スタンドと氷ケースは軽く引っ張ってはずしてください。



## 3. 本体、氷押さえを布で拭いてください。

- ◆ 完全に乾いた状態で保存してください。



### 《ご注意》

- 乳幼児には絶対に、ふれさせないようにしてください。
- 布は乾いた布を使ってください。
- お手入れには、住宅用洗剤・アルコール・シンナー・ベンジン・磨き粉・金属たわしなどは使わないでください。変色、変形の原因になります。
- 落ちない汚れは布に中性洗剤をしめらせてよくしぼってから、軽くふき取ってください。

## 4. 氷ケースのお手入れ。ご注意:刃には直接手でふれないでください。

- ◆ 氷ケースの刃には直接手をふれないよう付属のブラシを使用し水洗いをして、ふきんなどの上に置いて完全に乾かしてください。  
サビができるおそれがありますのでご注意ください。
- ◆ 完全に乾かした後、刃に食用油を塗って保存してください。



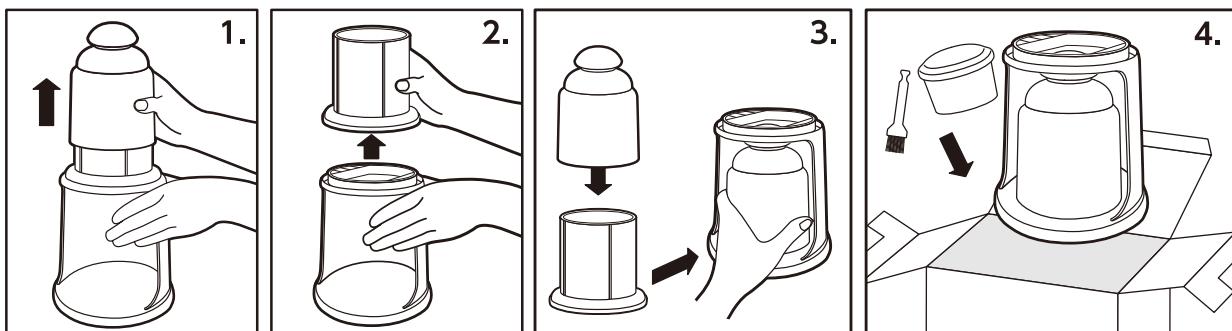
### 《ご注意》

- 刃の固定ネジは出荷時に的確な高さに調整を行っていますので、絶対にゆるめたり、刃の出し入れをしないでください。

# 保存のしかた

次のような方法により、製品の高さが低くなり、保存しやすくなります。

長期間ご使用にならない場合は、サビが発生しますので、完全に乾かしてから箱に入れて保存してください。



1. 本体を氷ケースからはずします。

2. 氷ケースをスタンドからはずします。

3. 氷ケースに本体をかぶせ、スタンドの下へぐらせて入れます。

4. 箱に入れる場合は本体とスタンドをそのまま箱に入れ、製氷カップは本体前面のすき間に  
お入れください。この状態で箱の折りしろを利用して固定し、収納してください。

## こんなときは

症状	主な原因	処置
電源ボタンを押しても動かない	●電源プラグが正しく差し込まれていますか。	●確実に差し込んでください。
	●氷ケースと本体が正しく組み合わされていますか。	●正しく組み合わせてください。
	●氷押さえが氷に押しつけられていますか。	●電源ボタンを強めに押し、本体を押し上げてください。
	●氷が氷ケースに入っていますか。	●氷を氷ケースに入れてください。
	●氷の量が多すぎませんか。	●氷の量を減らしてください。
氷が削れない	●氷ケース内に削れず残った氷が入っていないませんか。	●残った氷を取り除いてください。
	●氷が氷ケース内でひっかかっていませんか。	●箸などでかき回してください。
	●氷押さえが空回りしていませんか。	●一度本体をはずし、再度差し込んでください。

## 部品のご購入について・お問い合わせ

### お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

よくあるご質問

お客様の声(アンケート)

### 【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、  
ご使用にならざるに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ [www.doshisha.co.jp](http://www.doshisha.co.jp)

お客様相談室 **0120-104-481**

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品名、型番をご確認の上、お電話をいただきますようお願いいたします。

※お電話をおただいた際にお話しいただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

### 【修理品の送付先】

〒915-0801

福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ

福井カスタマーセンター